

WISSEN

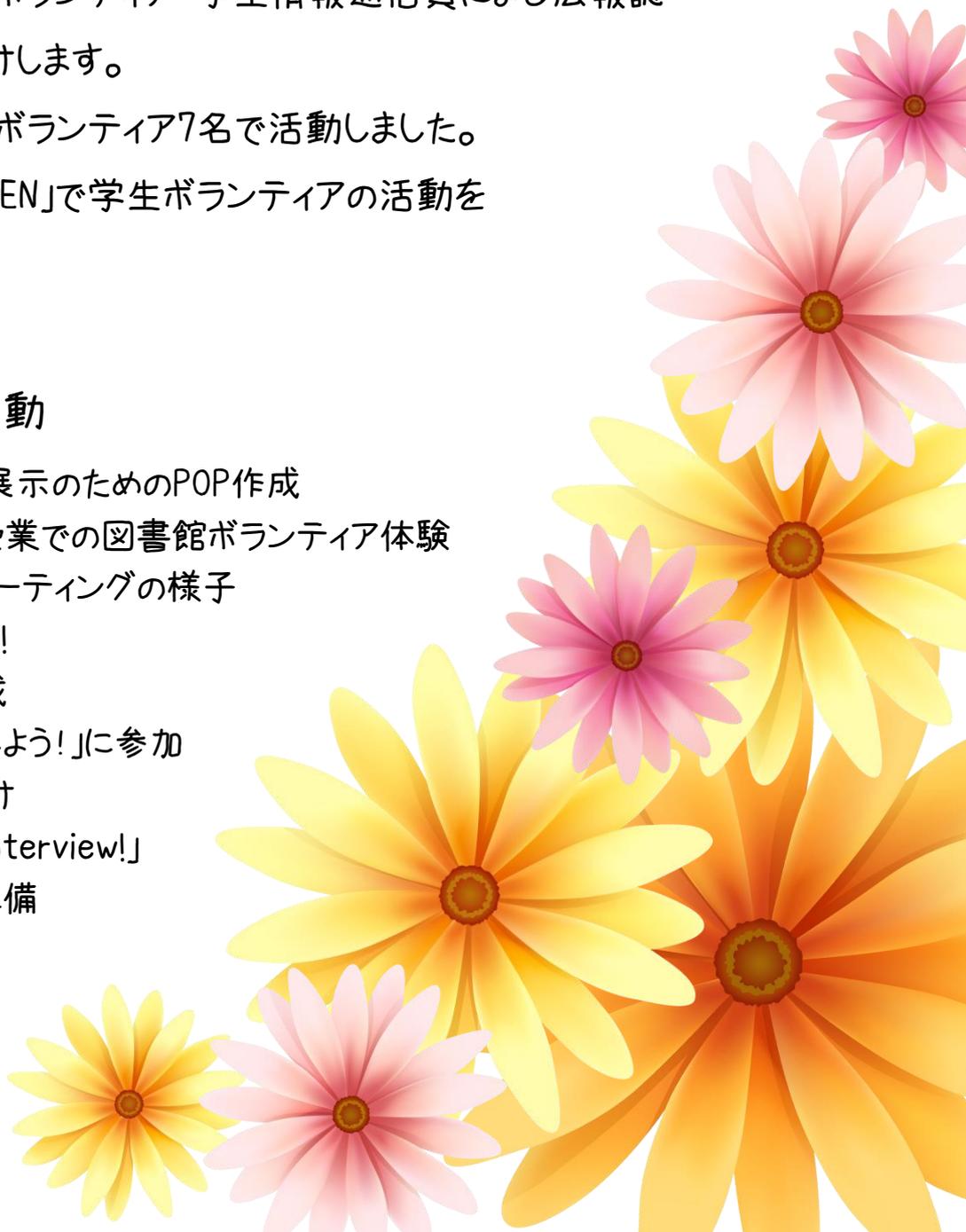
Number 10

2015年度の学生ボランティア・学生情報通信員による広報誌「WISSEN」をお届けします。

2015年度は学生ボランティア7名で活動しました。
この広報誌「WISSEN」で学生ボランティアの活動をご紹介します。

2015年度の活動

- ・新刊・学生選書、展示のためのPOP作成
- ・「生涯学習論Ⅲ」授業での図書館ボランティア体験
- ・学生ボランティアミーティングの様子
- ・ビブリオバトル参戦!!
- ・図書館装飾の作成
- ・「図書館長と話をしよう!」に参加
- ・クリスマスの飾り付け
- ・ミニ展示「先生にInterview!」
- ・「WISSEN」発行の準備



新刊・学生選書、展示のためのPOPの作成

学生ボランティアのお仕事のひとつとして、POPの作成をしています。図書館新館2階の入口にある新刊・学生選書のコーナーや図書館内の各展示コーナーにある本の説明や推薦文を書きます。

展示の終了した本のPOPは、新館2階円形コーナーに「POP大行進」と称して並べています。

ぜひ、学生ボランティアおすすめの本を探してみてください！

POPの内容はもちろん、POPの台紙も学生ボランティアが作っています！



POP大行進には様々な
図書のPOPを置いています。
ぜひご覧ください♪



授業での図書館ボランティア体験

6月9日3限、人文学部の立田慶裕先生の授業において、図書館の学生ボランティア・学生情報通信員についての説明を行い、34名の学生がボランティアの活動として、POP作りを体験しました！

“図書館で様々なイベントをしていてとても興味深くなりました”

“POPを作るのが意外と難しかった”

など、様々な感想をいただきました。

作ったPOPは本と一緒に新館2階円形コーナーに展示しました。POPはどれも読みたい！と思わせるものばかりで、展示を賑わせてくれていました。

イラストを描いたり文字をカラフルにしたりと、個性豊かなPOPを作成してくれました！



学生ボランティアミーティングの様子

学生ボランティア・学生情報通信員は、基本的にそれぞれ授業の合間や放課後など、好きな時に活動しています。

その間に、学生ボランティアは年に数回ミーティングを行います。図書館でやってみたい展示や企画を考え、みんなで案を出していきます。今年も様々な案を出してくれました。

ミーティングは初対面の人が多くはじめは緊張しますが、ミーティングや活動を通して学年を超えて仲良くなっていきます♪



ビブリオバトル参戦!!

2007年に京都大学で生まれた、知的書評合戦「ビブリオバトル」。発表者が自分のお勧め本を紹介し、一番読みたくなった本を参加者全員が投票し、「チャンプ本」を決定します。

有瀬図書館でも2011年より開催していますが、2015年度は学生ボランティア2名を含むバトルー達が熱戦を繰り広げました!

『PRDG 4 世界遺産の少女』:萩原規子著
有瀬館 本館4階閲覧室
913.6/OGI/R



『宮本武蔵』:吉川英治著
本館4階書庫
918.68/YOS/Y



図書館装飾の作成

クリスマスだけでなく図書館を四季に合わせて装飾をしたい!という学生ボランティアの意見により、四季折々の装飾を作成しました。

秋には紅葉やハロウィンの装飾を作成し、図書館内が一気に秋らしくなりました。新刊書のPOPとともに、たくさんの方が足を止めて見ているようでした。



▲ ボランティアコーナーの様子

「図書館長と話をしよう!」参加

12月8日有瀬図書館にて、図書館館長の佐藤伸明先生と学生による懇談会「図書館長と話をしよう!」が行われました。参加した学生ボランティア3名も、さまざまな意見を交わしました。

学生の意見を大切に、それを活かそうと
してくださっていたことを改めて感じました。
これからも図書館を利用していきたいと思いました。
(人文学部・1回生)

私が感じている図書館と他の人が思っている
図書館の違いが知れて、おもしろかったです。
図書館をよりよくするために、このような企画があるのは
本当にすごいなと思いました。
今までより、図書館を利用していこうと思いました。
(人文学部・1回生)



クリスマスの飾り付け

クリスマスに向け、きらびやかなツリーやリースなどで図書館内をクリスマス一色に飾り付けました。

図書館では、毎年、本学管弦楽団によるオーケストラ演奏と、ストーリーテラーによる語りで「図書館コンチェルト」を開催します。2015年度も12月19日に行われ、多くのお客さんを楽ませました。

クリスマスの飾りつけは毎年の恒例行事。今年は何んな飾りにしようかな？



Merry Christmas!



ミニ展示「先生にInterview!」

展示期間:2016年1月6日～2月29日

▼ 中山文先生にインタビュー



2015年度の学生ボランティアで考えた企画、「人文学部の先生とコラボして世界と日本の文学を展示」をもとに、人文学部の長谷川弘基先生と中山文先生にインタビューを行い、先生方と学生ボランティアのおすすめ本の展示を行いました。

インタビューをした学生ボランティアたちも熱心に聞き入り、先生のお話に質問したりして有意義な時間を過ごしていました。お話を聞いた学生ボランティアからは「貴重な話を聞けてよかった」などの感想が上がり、企画は大成功となりました!

▼ 長谷川弘基先生にインタビュー



本館2階カウンター横に展示しました。学生ボランティアがインタビューをしている様子も動画で流しました。



広報誌「WISSEN」発行の準備

-学生ボランティア おすすめの図書-

『超高速!参勤交代』 土橋章宏
有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/DOB/C

私が紹介させて頂く本は、土橋章宏著の「超高速!参勤交代」です。この本は、2014年に映画化もされました。時は江戸時代。参勤交代を終えたばかりのある小さな藩に5日以内に参勤するように、と知らせが来ます。しかし、お金も時間もないため、困った藩士たちは、獣道を進みます。しかし、様々な困難が待ち受けているのです。また、この参勤の背後に何か黒い影も見えます。大変面白く、おすすめです。

(人文学部・1回生)



『トモ、ぼくは元気です』 香坂直
有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/KOS/T

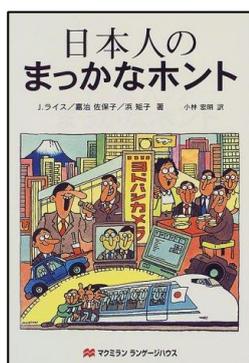
障がい者の兄をもつ主人公は、中学受験をひかえた夏休み、祖父母の家に連れて来られてしまいます。そこで出会う人達との交流を通して成長していきます。この本は、児童向けに書かれていて、私も小学生のころに読みました。そして、大学生になって久々に読みました。大学生になって、児童書なんて思うかもしれませんが、改めて話の内容の深さに気付かされると思います。

(人文学部・1回生)

『おおかみこどもの雨と雪』 細田守
有瀬図書館 本館4階文庫・新書 B/ほ/17-1

数年前に映画化され、友達にも感動する!と言われ手に取った1冊です。とても感動しました。おおかみ男との間に生まれた雨と雪を必死に育てる母親の花がたくましいというかスゴイというか。おおかみ子どもの雨と雪が自然の中で元気に育つ姿に嬉しかったり、けど人間社会で生きていくことに悩み始める姿に悲しかったり…。様々な感情が入り混じるけど、やっぱり家族っていいな、と思える本でした。

(人文学部・3回生)



『日本人のまっかなホント』 ジョナサン・ライス、
嘉治佐保子、浜矩子著;小林宏明訳。
有瀬図書館 新館1階A 361.42/MAK/22

この「まっかなホント」はシリーズ化されています。外国人は何を考えているかわからない不気味なモンスターと考える人用に、おもしろおかしく外国人の国民性が書かれています。アメリカ、イタリア、ロシア、中国、ドイツなど他にも様々な国についてあり、私はその中で日本人のまっかなホントをおすすめします。そうそうと頷くかもしれないし、違う違うと反論するかもしれない本ですが、私は思わず笑ってしまった本なので、皆さんにぜひ読んでほしいと思いました。

(人文学部・1回生)

-1年間を振り返って-

ブックカバーやPOPを作るなど本にかかわることができ、楽しかったです。
また、先生方にインタビューをする機会がめったにないことでしたし、貴重なお話を聞くこともでき、とてもよい経験になりました。強制的ではなく、基本的に自分の好きな時間に活動することができるのもよかったです。

今までこんなにも利用しやすい図書館はなかったので、この図書館にかかわることができ、本当にうれしかったです。

これからも学生ボランティアを続けていき、図書館の手伝いをしていきたいです。

(人文学部・1回生)

図書館でボランティアをさせてもらい、本を紹介するポップづくり、先生へのインタビュー等、さまざまなことができました。

スタッフさんのお仕事ぶりもボランティアをすることで少し知ることができました。学院の図書館の居心地の良さは様々な人のおかげだとも気づけるきっかけになりました。ボランティアできるときに行く、というスタイルも私には合っていてよかったです。これからも、図書館ボランティアを続けていきたいです。

(人文学部・1回生)

本が好きで、このボランティアをさせて頂きました。決まった時間に行うものとは異なり、講義の合間に出来たため、ボランティアを行い易かったです。また、様々な内容をさせて頂き楽しく真剣に取り組むことが出来ました。

来年度もこのボランティアが行えたらいいと思います。

(人文学部・1回生)

最初は友達がボランティアをしていたので私も・・・というふうに参加し始めたのですが、昨年のボランティア企画での楽しさが忘れられず、今年もボランティアに参加しました。

今年はPOP作りやディズニー洋書の看板作りや企画では人文学部の教授にインタビューする活動をさせていただきました。

特に看板作りではPRすることへの楽しさを知りました。時間を忘れてしまうくらい夢中になり、どうやったら見る側は洋書を手に取ってくれるだろうかと考えるいい機会にもなりました。

人文学部の教授に本に関するインタビューの企画は本当に感動しました!!先生の本に対する熱意や嬉しそうにお話される様子は聞いていて共感したし、私は前よりもっと本が好きになりました!!

ボランティア員でなかったらこの感動はなかったのかなと思うと、ボランティアをしてよかったと改めて思いました。

(人文学部・3回生)

Editorial note

編集後記

2015年度はとても精力的に活動できました。
そのおかげでたくさんの展示や企画をすることができ、
スタッフとしても、とても充実した一年となりました。
学生ボランティアのみなさん、一年間お疲れ様でした。
2016年度もぜひ学生ボランティア・学生情報通信員に
ご参加ください♪(スタッフより)



学生ボランティア・学生情報通信員は随時募集中です。
興味がある方はお気軽にスタッフまでお声かけ下さい♪

| | |
|-----|-----------------|
| 発行日 | 2016年 4月1日 |
| 編集 | 2015年度 学生ボランティア |
| 発行 | 神戸学院大学 有瀬図書館 |
| 印刷 | 神戸学院大学 有瀬図書館 |